

機能要件一覧

システム使用

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
1	システム 仕様		本システムは、防火対象物・危険物施設の情報を管理し、各情報の登録・参照が行え、火災・救急等の報告・統計処理の登録・参照が行えること	必須		
2	〃		Windowsをベースとした、Webアクセス方式のパッケージソフトとすることで、各端末装置の環境に依存されず、ネットワーク接続された各端末装置からインターネットエクスプローラー等のブラウザ機能によって容易にアクセス可能な仕様に構築されること。また、各業務の画面操作は同じ操作方法で行えること。	必須		
3	〃		問合せ等に対応できる検索／照会機能を有すること。また、検索機能については、全入力項目を検索条件の対象とする任意検索機能も有すること。	必須		
4	〃		当本部で扱う独自帳票については、職員がデータベースから帳票作成できる機能を有し、システム共通帳票としてLAN上のどの端末からでも利用が可能であること。また、独自帳票を作成できる機能を有すること。	必須		
5	〃		当本部でデータベースの内容を利用できるよう、データを他のソフトで利用できる共通フォーマット（CSVフォーマット等いずれか1形式以上）に変換できる機能を有すること。また、変換機能では、自由に変換項目の設定が行えること。	必須		
6	〃		当本部で自由な項目が入力できる自由項目設定機能を有すること。 また入力画面の中に、数値・コード・テキスト等の消防独自項目を配置できること。	必須		
7	〃		報告経緯が必要な場合として簡易ワープロ（ワードパット）を使用したメモ機能を有し、画面の項目枠、項目桁数にとらわれずワープロ感覚での入力が可能であること。	必須		
8	〃		イメージスキャナやデジタルカメラ等のイメージデータ（各種形式）を取り込み、台帳情報・報告情報と関連づけ管理できること。また、台帳・報告書等の帳票とあわせて出力可能であること。	必須		
9	〃		膨大なデータベースの内容を自由に項目・条件を指定し検索が行えること。	必須		
10	〃		日付入力においては、カレンダーを表示し日付をクリックすることで入力が可能であること。	必須		
11	〃		法令改正等による帳票レイアウトの変更は、保守の中で対応すること。	必須		
12	ちば消防共同指令センターとの連携		ちば消防共同指令センター指令システムと連動すること。その内容についてはちば消防共同指令センター管理者と調整をすること。（詳細協議）	必須		
13	〃		ちば消防共同指令センターとの連動により、災害事案（火災・救助・警戒・風水害等）および救急事案情報を取り込み、活動報告書の入力効率化を図ること。 災害事案については、共通情報、部隊活動情報の取り込みが可能であること。 共通情報を取り込む際、災害種別の変更が可能であること。 また、部隊活動情報を取り込む際、出動種別の変更が可能であること。 救急事案については、基本情報、傷病者情報（口頭指導情報、特定行為情報含む）の取り込みが可能であること。 救急事案については、基本情報、傷病者情報（口頭指導情報、特定行為情報含む）の取り込みが可能であること。	必須		

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
消防同意業務は申請の受付と受け付けた申請書から各種審査情報の入力を行い、建築確認申請収発簿、同意審査書（決裁書）及び同意通知書を発行することを指す。						
1	(a) 消防同意業務	① 消防同意申請 受付入力	1.申請受付情報の主な入力項目は、受付日、申請種別、建築受付日であること。 2.計画変更の場合は、元の同意情報を検索することができること。 3.増改築等、既に対象物が存在している場合には、対象物データを検索できること。	必須		
2	〃	② 消防同意審査情報 入力	1.建築同意審査情報の入力においては申請受付情報を取り込むことが可能であること。 申請受付情報を入力していない場合は、新規釦を押下し、簡易申請受付情報入力画面から 受付情報の入力が可能であること。 2.主な入力項目は、管轄署、工事種別、同意状況、不同意理由、同意日等であること。 3.消防同意審査情報として、棟情報（階数、高さ、面積、階段、工事種別、構造、 共同住宅情報、危険物情報等）の登録が可能であること。 4.消防同意審査情報として、階別情報（地上地下、階数、用途、申請面積、窓の有無、 階段種別等）の登録が可能であること。 5.階別情報の登録後、階別情報の項別を元に項別毎に床面積の集計が行えること。 6.階別情報に関して、消防用設備状況を入力が行えること。消防用設備に関しての 通知内容は、予め登録されている通知内容から選択することが可能であること。 また登録された消防用設備に対し、階毎に情報を入力することが可能であること。 7.棟情報に関して、審査事項情報の入力が可能であること。 審査項目に対して法令事項/内容を入力する際、予め登録されている審査事項の文例を 選択し 入力することが可能であること。また、選択後、変更入力も可能であること。 8.棟情報に関して、必要な届出や通知事項がある場合は、届出種別及び防災物品に関する 通知 事項等、通知書上に記載される内容を登録することができること。届出通知内容 及び通知事項の 通知内容に関しては予め登録されている通知内容から選択することが 可能であること。また選択後、変更入力も可能であること。	必須		
3	〃	③ 建築同意審査書/ 消防用設備等 通知書/ 不同意通知書 印刷	1.建築同意審査書、消防用設備等通知書及び不同意通知書の帳票に関しては、 印刷プレビューにより 画面上で内容を確認することができること。 2.建築同意審査書、消防用設備等通知書及び不同意通知書の帳票に関しては、 デザイン変更ができること。	必須		
4	〃	④ 建築同意処理状況 照会	1.建築同意処理状況に関しては、管轄署、受付年月、申請区別、工事種別、処理状況を 検索キーとして検索照会できること。また、照会結果は照会リストとして印字出力できること。 2.照会一覧の中から一行選択確定すると、その審査情報を参照することができること。	必須		
5	〃	⑤ 建築同意届出等 処理状況 照会	1.建築同意の届出状況を照会することが可能であること。また、照会結果は照会リスト として印字出力できること。	必須		
6	(b) 検査管理業務	① 消防用設備等 検査結果情報 入力/印刷	1.消防用設備等の検査結果は建築同意申請もしくは既存査察台帳を選択し、入力を行うこと。 2.消防用設備に関する検査結果情報の入力後、検査結果報告書及び設備設置検査済証の 印字出力が可能であること。 また、これらの帳票は印刷プレビューにより、画面上で内容を確認することができること。	必須		
7	〃	② 検査情報 検索/照会	1.検査情報は管轄署、検査年月、名称（先頭、一部検索）、検査種別、検査内容、 検査結果を検索キーとして検索できること。 2.検査結果は照会リストとして印字出力が可能であること。 3.照会一覧の中から一行選択確定すると、その検査情報を参照することができること。	必須		
8	(c) 台帳管理業務	① 対象物台帳情報 入力	1.敷地情報（名称、所在地、地区、敷地用途、対象物種別、防火管理、定期点検義務対象物、 防災管理、自衛消防組織設置義務、棟数、敷地面積、管理権原者数、収容人員等）の入力が 可能であること。 2.関係者情報（関係者区分、占有棟、占有階、用途区分、名称、通知書送付必要性の有無、 表示マーク交付所送付先の有無、防火管理者・防災管理者の選任義務の有無、共同選任の有無、 消防計画の届出状況等）の入力が可能であること。 3.敷地情報に関して、防火管理情報（管理権原者の概要、共同防火管理・共同防災管理の要否、 共同防火協議事項・共同防災協議事項の届出状況、統括防火管理者統括防災管理者の概要等） の入力が可能であること。選任状況と消防計画届出状況は、管理権原者の概要を入力した段階で 自動的に表示されること。 4.敷地情報に関して、消防訓練状況（訓練日、実施訓練種別のチェック等）の入力が行えること。 また、登録釦を押下すると訓練状況の情報は訓練日の降順に並び変わること。 5.敷地情報に関して、管理権原者毎に対象物定期点検報告状況・防災管理点検報告状況 （報告年月日、点検実施日、基準適合のチェック、点検者、不備内容／状況および措置内容）の 入力が行えること。また、登録釦を押下すると報告年月日の昇順に並び変わること。 6.敷地情報に関して、管理権原者毎に対象物特例認定状況・防災管理特例認定状況 受付年月日、受付番号、認定年月日、認定番号、取消年月日等）の入力が行えること。 また、登録釦を押下すると受付年月日の昇順に並び変わること。 7.敷地情報に関して、届出/申請状況（届出/申請種別、棟番号等）の入力が行えること。 また、登録釦を押下すると届出/申請状況の情報は届出種別、棟番号、届出年月日の昇順に 並び変わること。	必須		

機能要件一覧

防火対象物管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
8	(c) 台帳管理業務	① 対象物台帳情報 入力	8.敷地情報に関して、特殊施設情報（届出種別、届出年月日、廃止の有無等）の入力が行えること。また、登録釦を押下すると特殊施設情報の情報は届出種別、棟番号、届出年月日の昇順に並び変わる。 9.敷地情報に関して、危険物施設情報を入力できること。危険物施設情報は、危険物施設管理システムで管理している施設情報を検索し、該当の施設を紐付けすることができること。 10.敷地情報入力/印刷に関して、全ての棟の査察結果・改善状況は照会することが可能であること。 11.棟情報（棟名称、地上/地下の階数、延べ面積、収容人数、高さ、防災義務の有無、査察区分、階段、建築年月日等）の入力が可能であること。 12.棟情報に関して、階別情報（地上地下、階数、用途区分、床面積、収容人数、階段種別等）の入力が行えること。 また、登録釦を押下すると階別情報は、階順に並び変わる。 13.消防用設備情報入力画面より階別情報と消防用設備情報の関連付けが可能であること。 また、階別情報入力画面より、関連づけた各階の消防用設備設置状況が照会可能であること。 14.階別情報の登録後、階別情報の項別を元に項別毎に床面積の集計が行えること。 15.棟情報に関して、消防用設備状況を入力が行えること。 消防用設備に関して設置状況や特例適用等の情報が入力できること。 また、登録釦を押下すると消防用設備コード順に並び変わる。 16.登録された棟情報の消防用設備に対して、階毎に情報（階数、床面積、収容人数、設置の有無、数等）を入力することが可能であること。 17.棟情報に関して設備点検報告状況の情報（報告日、次回予告日、報告内容等）の入力が行えること。また、登録釦を押下すると点検報告日順に並び変わる。 18.防火対象物台帳に登録された全ての棟情報について、台帳印刷が可能であること。 印刷の対象となるデータは、棟個別指定及び帳票種別の選択により、指定することが可能であること。 印刷するデータは、印刷プレビューにより画面上で内容を確認することができること。 19.敷地情報の入力に関しては、建築同意申請情報を対象物台帳へ取込むことができること。 20.対象物台帳は、管轄署、地区、項別、担当者区分、延べ面積、名称、査察区分、危険物の有無、設備違反等を検索キーとして、検索できること。 照会結果は、照会リストとして印字出力が可能であること。 照会一覧より一行選択し、確定釦を押下すると、その対象物の情報を参照することが可能であること。 21.対象物台帳の情報と同じ情報の対象物台帳が新しく生成されること。 この場合、元の情報は保存されていること。 22.対象物台帳は移動することが可能であること。	必須		
9	〃	② 増改築 台帳更新 入力	1.増改築の回数、増改築の年月日、増改築の内容等が入力可能であること。	必須		
10	〃	③ 増改築 履歴情報 照会	1.署所コードと管理番号の入力確定により、その対象物の増改築履歴情報が照会できること。	必須		
11	(d) 査察管理業務	① 査察チェック表/ 指摘表 印刷	1.査察チェック表及び査察結果指摘表が印字出力が可能であること。	必須		
12	〃	② 査察結果入力/ 通知書印刷	1.査察結果の立会者の入力は関係者検索画面より指定された対象物情報の関係者データより立会者（名称、役職指名）を選択することが可能であること。 2.査察結果の通知先の入力は関係者検索画面より指定された対象物情報の関係者データより通知先（名称、役職名）を選択することが可能であること。 3.立入検査結果報告書、立入検査結果通知書及び是非(計画)報告書の印字出力が可能であること。また、これらの帳票はデザインの変更が可能であること。 4.査察結果の入力は、敷地単位及び棟単位に入力可能であること。 5.指摘事項は指摘中分類、指摘小分類、指摘事項の入力が可能であること。 指摘事項の文例は指摘事項文例検索画面上で、予め登録している指摘事項文例のデータより指摘中分類、指摘小分類、指摘事項、根拠法令を選択することが可能であること。 また、選択後変更入力が可能であること。 6.指摘事項は、関係者（管理権原者）単位にも入力可能であること。	必須		
13	〃	③ 経過入力	1.指摘事項は指摘中分類、指摘小分類、指摘事項の入力が可能であること。 指摘事項の文例は指摘事項文例検索画面上で、予め登録している指摘事項文例のデータより指摘中分類、指摘小分類、指摘事項、根拠法令を選択することが可能であること。 また、選択後変更入力が可能であること。 2.経過事項として、是正状況、是正計画届出済、是正計画完結日、是正の有無、是正事項、是正年月日の入力が可能であること。	必須		
14	〃	④ 査察状況 検索/照会	1.査察状況は管轄署、査察年月、査察種別、項別、査察区分を検索キーとして、情報を検索できること。また、照会結果は照会リストとして、印字出力が可能であること。	必須		
15	(e) 違反管理業務	① 違反 入力/印刷	1.違反情報の入力項目として主に、対象物、所在地、命令措置年月日、命令区分、棟、命令等根拠法令、命令種別、対象物区分、設備の種類、命令種別、行政通知年月日、履行期限有り、履行状況、罰則の適用があること。 2.違反履歴台帳の印字出力が可能であること。 3.未改善指摘事項は、未改善指摘事項一覧画面上で、指摘された対象物報のデータより違反事項を選択することができること。	必須		

機能要件一覧

防火対象物管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
16	(e) 違反管理業務	② 違反状況 検索/照会	1.違反状況は管轄署、命令措置年月、命令根拠法令、名称、設備の種類、命令種別、履行状況を検索キーとして、検索及び照会が可能であること。 2.照会結果は違反状況照会リストとして、印字出力が可能であること。	必須		
17	(f) 届出申請業務	① 届出/申請情報 入力	1.届出/申請情報は受付署毎に、届出種別、届出年月日、届出対象情報、届出者、申請情報、届出概要、工事施行者等があること。 2.届出番号、受理番号及び承認番号はそれぞれの釦を押下すると、最新番号を検索することが可能であること。 3.届出対象情報の入力は、建築同意申請対象物台帳かを選択し、届出種別が消防用設備点検報告届、通報承認申請、通報承認内容変更届、是正計画の場合は、既存査察台帳のみ選択が可能であること。 4.届出者の情報入力においては、届出対象情報が既存査察台帳の場合は、関係者情報一覧検索の表示が行えること。 5.届出対象情報が建築同意申請の場合、指定された受付番号の建築同意届出処理状況に自動更新されること。 また、届出対象情報が既存査察台帳の場合、指定された台帳番号の対象物台帳届出申請状況に自動更新されること。 6.届出画面内から届出対象の既存査察台帳に移動できる機能を有すること。	必須		
18	〃	② 届出/申請状況 検索/照会	1.届出状況は受付署、届出年月、届出種別、対象物名称、届出番号を検索キーとして、検索照会できること。また、検索結果は届出状況照会リストとして、印字出力が可能であること。	必須		
19	〃	③ 警備会社等 登録	1.警備会社等の情報入力項目として、名称、所在地、通報の種類、受信場所、通報登録申請、内容変更届出、有効期限、通知年月日、廃止届出、変更・廃止内容があること。これらの情報は警備会社等登録台帳として管理できること。	必須		
20	〃	④ 即時通報等承認 検索/照会	1.即時通報承認台帳は管轄署、承認年月日、通報種別、項別を検索キーとして、検索照会が可能であること。検索結果は、照会リストとして印字出力が可能であること。	必須		
21	(g) 統計処理業務	① 集計処理	1.国表01表～18表、20表～27表、33表、34表、51表の集計処理を行うことが可能であること。 また集計結果は E X C E L シート上に表示することが可能であること。 2.国表28表、29表、35表、36表のレイアウトを表示できること。	必須		
22	〃	② 集計結果内容 検索	1.集計処理を行った後、集計結果に対して、対象となったデータを検索することが可能であること。 検索手順としては、まず検索対象の帳票を指定し、検索対象の行と列を入力すること。	必須		
23	〃	③ 集計処理状況 照会	1.集計処理した結果は、照会リストとして印字出力が可能であること。 また、任意帳票作成後、正しく集計されなかった場合等に、原因を探索することが可能であること。	必須		
24	〃	④ オンライン情報生成	1.総務省消防庁オンライン報告に対応するため、防火対象物実態等調査オンライン処理システムで読込みができるファイル形式で出力できること。	必須		
25	(h) 任意検索機能	① 任意検索	1.登録されている全ての情報について、検索することが可能であること。 2.パターン登録釦を押下すると、検索情報を登録することが可能であること。 パターン登録された情報は、上書き保存や削除ができ、パターン読込釦を押下すると、パターン登録一覧を表示することが可能であること。	必須		
26	〃	② 任意検索登録 パターン印刷	1.登録されているパターンの情報は登録番号の選択等により、印字出力が可能であること。	必須		
27	(i) E X C E L 変換機能	① E X C E L 変換	1.登録されている全ての情報については、項目（基本情報・検索情報・項目名）を選択することにより、取り出したい情報を E X C E L に変換することが可能であること。	必須		
28	〃	② E X C E L 変換 登録パターン印刷	1.E X C E L 変換した情報はパターン登録釦を押下することにより、検索情報を登録することが可能であること。パターン登録された情報は、上書き保存や削除ができ、パターン読込釦を押下すると、パターン登録一覧を表示することが可能であること。 2.登録されているパターンの情報は登録番号の選択等により、印字出力が可能であること。	必須		
29	〃	③ E X C E L 変換 登録パターンのみ	1.セキュリティ上、取り出される情報を制限するため、パターン登録された項目についてのみ E X C E L 変換が可能であること。	必須		
30	(j) 統計表作成機能		① 帳票設定 入力 ② 帳票編集条件 入力 ③ 印刷条件表 印刷	必須		
31	(k) 自由帳票作成機能		① 帳票情報 入力 ② 印刷情報 デザイン ③ 印刷情報 確定 ④ 帳票印刷	必須		

機能要件一覧

防火対象物管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
32	(l) 環境設定機能		① マスタデータは各種メンテナンスが可能であること。 1.消防用設備マスタメンテナンス 2.届出種別マスタメンテナンス 3.文書記号マスタメンテナンス 4.通知内容文例マスタ 5.指摘事項文例マスタメンテナンス 6.自由項目マスタメンテナンス（タイトル） 7.自由項目マスタメンテナンス（内容） 8.システムコードマスタメンテナンス 9.査察チェック項目マスタ 10.項目細分コード変換マスタ			
33	(m) データ検証機能		データ検証条件(突合せ条件)を設定し、該当するデータをE X C E Lに出力できること。 設定可能なデータ検証条件として、次の4種類を備えること。 ① 条件入力 「かつ」、「又は」の条件を設定できること。複数設定も可能なこと。 入力されていない項目を検索する条件設定も可能なこと。 ② 未登録情報条件 登録されていない情報を検索する条件を設定できること。 ③ 不一致情報条件 項目の内容が不一致の情報を検索する条件を設定できること。			

機能要件一覧

危険物施設管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
1	(a) 許可申請業務	① 設置許可申請 入力	1.主な入力項目は申請年月日、受付署、設置者（名称、住所、役職）、設置施設情報（名称、設置場所）、施設区分、施設詳細、浮き屋根、手数料、許可番号、許可署である。 2.既に設置許可が登録されている場合は、施設情報釦を押下し、検索画面から施設情報を検索表示できること。その施設情報を流用し、施設情報として登録できること。 これにより、設置者の内容、設置施設名、管理施設名、呼称名、設置場所、施設区分、施設詳細、倍数、タンク容量、新法、旧法の入力を行う手間を省けること。 3.既に設置者が登録されている場合は、設置者釦を押すことで目的とする設置者を検索、表示し、その情報を流用し、設置者として登録することができること。 未登録の場合は、設置者登録釦を押下することで表示される、設置者/管理運営者登録画面から登録することができること。この登録された設置者等の情報は、設置者登録管理にも反映できること。 4.既に施設台帳が登録されている場合は、施設台帳登録釦を押すことで検索画面から施設情報を検索表示できること。その施設情報を流用し、施設情報を登録できること。 5.許可番号の登録は許可番号釦を押下し、最新番号照会画面から最新の番号を検索し、登録できること。これにより、番号の二重登録を防ぐこと。 6.手数料は施設区分が移送取扱所、浮き屋根式の場合以外全て自動計算すること。 7.登録された申請情報は、施設台帳の許可履歴情報へ自動的に反映されること。 また、項目が登録された時点で、許可証が発行できること。			
2	〃	② 変更許可申請 入力	1.変更許可申請の入力においては、施設情報釦を押下し、検索画面から施設情報を検索表示し、その施設情報を変更許可申請の情報として流用することが可能であること。 2.施設情報の項目のうち、設置者の内容、設置施設名、管理施設名、呼称名、設置場所、施設区分、施設詳細、浮き屋根式、倍数、タンク容量、新法、旧法の内容が変更することが可能であること。 3.許可番号の採番や申請の登録、許可証の発行、手数料の計算は①の設置許可申請の5、6、7と同様の操作とすること。			
3	〃	③ 他行政庁からの 転入許可申請入力	1.提出された転入許可申請にもとづき、譲渡元の設置者、許可行政庁等の入力と施設情報、設置者、移動タンクの詳細が登録できること。 2.許可番号の採番や申請の登録、許可証の発行、手数料の計算は①の設置許可申請の5、6、7と同様の操作とすること。			
4	〃	④ 完成検査申請 入力	1.完成検査申請の入力画面上には、既に登録されている設置者、施設、施設区分、許可区分が自動的に表示されていること。 2.登録後、完成検査済証（10号）または完成検査済証（11号）を発行できること。 なお、完成検査申請の登録を行った場合、その情報は施設台帳の許可履歴に自動的に反映されること。 3.複数の許可申請に対して、完成検査申請入力が行えること。			
5	〃	⑤許可申請状況 検索/照会	申請状況を検索及び照会ができること。 また、許可申請照会リストとして一覧表の印刷が可能であること。			
6	(b) 完前検査業務	① 完成検査前検査 入力	完成検査前検査の主な入力項目は、受付年月日、完前検査区分、タンク容量、寸法、材質、板厚、製造者、検査年月日等であること。登録後、タンク検査済証が発行できること。			
7	〃	② 完成検査前検査 検索/照会	申請状況は検索及び照会ができること。また、完成検査照会リストとして発行できること。			
8	(c) 承認申請業務	① 仮使用承認申請 入力 (受付・承認)	1.仮使用承認申請の受付入力においては、変更許可申請にて登録された情報に基づいて、設置者、設置施設名、施設区分、受付署、申請者、申請者住所、電話番号が自動表示されること。 2.仮使用承認申請の承認入力を行う施設は、仮使用承認申請で受付けた情報から施設を選択すること。選択された施設における情報のうち、設置者、設置施設名、施設区分、受付署、申請者、申請者住所、電話番号、申請年月日は自動表示されること。			
9	〃	② 仮貯蔵・ 仮取扱承認 申請 入力 (受付・承認)	1.仮貯蔵・仮取扱承認申請の受付入力項目として、申請年月日、申請者、管理責任者、貯蔵取扱場所、貯蔵区分、貯蔵期間があること。 2.仮貯蔵・仮取扱承認申請の承認入力を行う施設は、仮使用承認申請で受付けた施設から選択できること。 選択された施設における情報のうち、申請者、管理責任者、貯蔵取扱場所、貯蔵区分、貯蔵期間、手数料は自動表示されること。その情報に、承認年月日、承認番号を入力することにより、承認登録できること。 3.仮貯蔵・仮取扱承認申請の承認入力は上記のbの(b)のような承認入力の他、仮貯蔵・仮取扱承認申請の受付入力から直接、承認年月日、承認番号を入力し、承認登録できること。			
10	〃	③ 予防規程制定 (変更) 認可申請 入力	予防規程制定（変更）認可申請入力項目として、申請年月日、申請者、管理責任者、予防規程場所、規程区分、規程期間があること。			
11	〃	④ 特定屋外タンク 保安検査時期 延長 入力	1.準特定屋外タンクと特定屋外タンクの申請時は、特定屋外タンク保安検査時期延長申請が可能であること。また、タンク容量については、自動表示が可能であること。 2.特定屋外タンク保安検査時延長申請にて、申請された申請年月日、承認年月日は、施設台帳の届出/申請状況の照会に、保安検査時期延長申請は、定期点検/保安検査履歴の入力画面の保安検査時期延長申請の欄に自動的に反映されること。			

機能要件一覧

危険物施設管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
12	(d) 設置者管理業務	① 設置者 登録	1.設置者（管理運営者）登録画面上で新規紐を押下し、名称、住所等を入力することで、設置者を登録できること。設置者情報を施設台帳へ紐付けることにより、その設置者が保有している施設が保有している施設を照会できること。 2.登録された設置者の情報は設置者名簿として出力できること。 3.設置者が保有している保有施設を保有施設一覧表として出力できること。 4.設置者の情報は検索及び照会できること。また、照会リストの出力も可能であること。			
13	(e) 施設台帳管理業務	① 施設台帳 入力	1.施設の情報として、敷地情報と施設情報を管理すること。敷地情報には、査察状況、事故状況、施設情報には許可履歴、タンク台帳、保安監督者情報、届出申請状況、構造設備明細を入力することができること。 2.査察管理業務で入力した査察状況の経過情報（査察結果及び改善状況の情報）が参照可能であること。 3.事故発生状況の入力の際、火災調査情報及び災害情報を取り込むことが可能であること。 また、取り込んだ情報は変更入力が可能であること。 4.タンク台帳の構造明細紐を押下すると、入力されたタンク情報毎に構造設備明細を入力することができること。 5.施設台帳は、検索及び照会できること。また、照会リストとして発行ができること。 6.施設台帳はコピーが可能であること。施設台帳の情報と同じ情報の施設台帳が新しく生成されること。この場合、元の情報は保存されていること。 7.施設台帳は移動することが可能であること。			
14	(f) 査察管理業務	① 査察チェック表/ 指摘表 印刷	査察チェック表及び査察結果指摘表の出力が可能であること。			
15	〃	② 査察結果入力/ 通知書 印刷	1.査察結果の入力項目において、立会者と通知先は関係者検索画面上の指定された危険物施設情報の関係者データから立会者と通知者をそれぞれ選択することが可能であること。 2.立入検査結果報告書、立入検査結果通知書及び是正報告書が出力できること。 3.査察結果入力の画面において、指摘事項の入力が可能であること。指摘分類、指摘事項及び根拠法令の入力においては、あらかじめ登録している指摘事項文例のデータから検索し選択し、反映できること。 4.査察結果の入力は、敷地単位及び施設単位に入力が可能であること。			
16	〃	③ 経過入力	1.是正事項がある施設は、施設情報から検索し、登録が可能であること。 2.是正が必要な施設に対しては、経過入力画面より、是正状況、是正計画届出、是正完了日、是正事項等を登録できること。			
17	〃	④ 査察状況 検索/照会	査察状況は管轄署、施設区分、査察年月、査察種別から検索することが可能であること。 また、査察状況照会リストとして出力が可能であること。			
18	(g) 違反管理業務	① 違反 入力	1.違反管理の主な入力項目は、命令措置、年月日、命令区分、措置区分、違反内容、命令種別、命令根拠法令、分署番号、行政通知年月日、期限の設定、履行期限年月日、履行状況、罰則の適用、罰則適用人数、代執行の有無、審査請求、違反完了年月日等であること。 2.未改善の指摘事項は未改善指摘事項一覧として表示可能であり、変更入力が可能であること。 3.違反入力の画面において、違反事項の入力が可能であること。違反事項、違反根拠法令、違反内容、命令種別、命令等根拠法令の入力においては、あらかじめ登録している違反文例のデータを選択し、反映できること。			
19	〃	② 違反履歴台帳 印刷	違反の履歴は違反履歴台帳として出力が可能であること。			
20	〃	③ 違反状況 検索/照会	管轄署、命令措置年月、違反事項、設置施設名、命令区分、違反根拠法令、命令根拠法令、命令種別、履行状況、施設区分を検索キーとして、対象の施設を検索できること。 照会した結果は、違反状況照会リストとして出力が可能であること。			
21	(h) 届出管理業務	① 届出情報 入力	1.受け付けが可能である主な届出は、以下のとおりであること。 ・危険物仮貯蔵・仮取扱承認申請書 ・危険物製造所等仮使用承認申請書 ・危険物製造所等設置許可申請書 ・危険物製造所等変更許可申請書 ・危険物製造所等変更許可及び仮使用承認申請書 ・危険物製造所等完成検査前検査申請書 ・危険物製造所等完成検査申請書 ・移送取扱所設置許可申請書 ・移送取扱所変更許可申請書 ・移送取扱所変更許可及び仮使用承認申請書 ・移送取扱所完成検査申請書 ・完成検査済証再交付申請書 ・予防規定の制定・変更認可申請書 ・危険物製造所等変更届出書 ・危険物製造所等工事施工届出書 ・危険物保安統括管理者選任・解任届出書 ・危険物保安監督者選任・解任届出書 ・危険物製造所等品名、数量又は指定数量の倍数変更届出書 ・少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い届出書 ・少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い廃止届出書			

機能要件一覧

危険物施設管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
21	(h) 届出管理業務	① 届出情報 入力	・危険物製造所等譲渡引渡届出書 ・危険物製造所等休止・再開届出書 ・危険物製造所等廃止届出書 ・災害発生届出書 ・新基準適合 ・第一段階基準適合 ・タンク腐食防止点検 開放周期13年 ・タンク腐食防止点検 開放周期15年 ・貯蔵管理点検 開放周期14年 ・貯蔵管理点検 開放周期15年 2.任意で追加した届出種別に対して、届出概要情報が入力できること。			
22	〃	② 届出状況 検索/照会	1.登録完了後、届出に対応した施設台帳の必要部分を詳細表示でき、変更入力も行えること。 登録された内容は、施設台帳の届出/申請情報の履歴として登録できること。 2.届出状況は管轄署、届出種別、設置施設名、見出番号を検索キーとして、検索でき、 照会結果は届出状況照会リストとして出力が可能であること。			
23	(i) 手数料管理業務	① 手数料明細書/ 集計表 印刷	1.指定した年月の手数料の明細と集計を行うことが可能であること。 2.明細は手数料明細表として、集計結果は手数料集計表として出力が可能であること。			
24	(j) 統計処理業務	① 集計処理	1.国表01表～17表、20表～23表の集計処理を行うことが可能であること。また集計結果は E X C E L シート上に表示することが可能であること。 2.危険物規制事務調査表の全帳票を集計した場合、危険物規制事務調査表入力要項に 記載されている表間突合のチェックを行うことが可能であること。			
25	〃	② 集計結果内容 検索	集計処理を行った後、集計結果に対して、対象となったデータを検索することが 可能であること。 検索手順としては、まず検索対象の帳票を指定し、検索対象の行と列を入力すること。			
26	〃	③ 集計処理状況 照会	集計処理した結果は、照会リストとして印字出力が可能であること。 また、任意帳票作成後、正しく集計されなかった場合等に、原因を探索することが 可能であること。			
27	(k) 任意検索機能	① 任意検索	1.登録されている全ての情報について、検索することが可能であること。 2.パターン登録紐を押下すると、検索情報を登録することが可能であること。 パターン登録された情報は、上書き保存や削除ができ、パターン読込紐を押下すると、 パターン登録一覧を表示することが可能であること。			
28	〃	② 任意検索登録 パターン印刷	1.登録されているパターンの情報は登録番号の選択等により、印字出力が可能であること。			
29	(l) E X C E L 変換機能	① E X C E L 変換	1.登録されている全ての情報については、項目（基本情報・検索情報・項目名） を選択することにより、取り出したい情報を E X C E L に変換することが可能であること。			
30	〃	② E X C E L 変換登録 パターン印刷	1.E X C E L 変換した情報はパターン登録紐を押下することにより、検索情報を登録 することが可能であること。パターン登録された情報は、上書き保存や削除ができ、 パターン読込紐を押下すると、パターン登録一覧を表示することが可能であること。 2.登録されているパターンの情報は登録番号の選択等により、印字出力が可能であること。			
31	〃	③ E X C E L 変換 登録パターンのみ	セキュリティ上、取り出される情報を制限するため、パターン登録された項目についてのみ E X C E L 変換が可能であること。			
32	(m) 統計表作成機能		① 帳票設定 入力 ② 帳票編集条件 入力 ③ 印刷条件表 印刷 1.確定エラーリストの出力が可能であること。			
33	(n) 自由帳票作成 機能		① 帳票情報 入力 ② 印刷情報 デザイン ③ 印刷情報 確定 ④ 帳票印刷			
34	(o) 環境設定機能		① マスタデータは各種メンテナンスが可能であること。 1.届出種別マスタメンテナンス 2.品名マスタメンテナンス 3.許可記号/検査記号マスタメンテナンス 4.指摘事項文例マスタメンテナンス 5.手数料金額マスタ有効期限更新 6.手数料金額マスタメンテナンス 7.自由項目マスタメンテナンス（タイトル） 8.自由項目マスタメンテナンス（内容） 9.システムコードマスタメンテナンス 10.違反事項文例マスタメンテナンス 11.査察チェック項目マスタメンテナンス			
35	(p) データ検証機能	① 条件入力	データ検証条件(突合せ条件)を設定し、該当するデータを E X C E L に出力できること。設定可能なデータ 検証条件として、次の4種類を備えること。 「かつ」、「又は」の条件を設定できること。複数設定も可能なこと。 入力されていない項目を検索する条件設定も可能なこと。			
36	〃	② 未登録情報条件	登録されていない情報を検索する条件を設定できること。			
37	〃	③ 不一致情報条件	項目の内容が不一致の情報を検索する条件を設定できること。			

機能要件一覧

災害事案管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
1	(a) 活動報告業務	① 活動報告業務書 入力／印刷	活動報告に必要な情報が入力できること。 災害種別として「火災」「救助」「警戒・その他」が選択できること。 災害活動共通情報として、災害種別、覚知日時、通報者、通報内容、発生場所、関係者、出動人員、気象状況などの情報を入力できること。 火災活動の場合、火災種別、延焼防止日時、鎮圧日時、鎮火日時、救助開始日時、救助終了日時、出火箇所、出火原因、焼損棟数、焼損面積、り災世帯、り災人員、使用資器材などの情報が入力できること。 火災活動の場合、火元・類焼の住所・氏名、火元建物のり災前の状況、建物以外の焼損物件、り災状況などが入力できること。 救助活動の場合、事故種別、発生場所、救助開始日時、救助終了日時、出動状況、出動／活動車両数、消防機関以外の活動機関、救助人員、搬送人員、搬送車両別の内訳、使用資器材などの情報が入力できること。 警戒・その他の場合、警戒種別、措置開始日時、措置終了日時、警戒概要、使用資器材などの情報が入力できること。 風水害の場合、風水害種別、措置開始日時、措置終了日時、被害状況などの情報が入力できること。 消防機関以外の活動状況を入力できること。 死傷者の住所、氏名、住所、生年月日、救出日時、搬送車両、程度、医療機関などを入力できること。 入力した情報を元に当消防本部が指定する独自帳票の印刷ができること。 事案のコピーができること。	必須		
2	〃	② 部隊活動情報 入力	1車両ごとの活動状況、出動隊員情報などが入力できること。 車両状況（各時刻、所要時間）、隊情報、出動人員、水利情報、活動状況、使用資器材などが入力できること。	必須		
3	〃	③ 災害活動報告書 印刷	年月、登録番号を指定し、即時活動報告書を印刷できること。 年月、登録番号、署所、管轄自署所区分を指定して、災害活動報告書を印刷できること。 年月、登録番号、隊を指定して、部隊活動報告書を印刷できること。	必須		
4	〃	④ 災害活動報告書 検索／照会	検索条件を指定して、災害活動報告を参照できること。 照会リストの印字出力が可能であること。	必須		
5	〃	⑤ 災害日報 印刷	覚知日時の範囲と対象データ（全件もしくは統括署所）を指定して災害日報を印刷できること。	必須		
6	(b) 火災調査報告 業務	① 火災調査報告 基本情報入力	基本情報として出火場所、名称、火災番号、延焼区分（他消防）、火災種別、関係者情報、放・失火者情報などが入力できること。 国表1表-1の内容（火災種別、出火時刻、鎮火時刻など）が入力できること。 国表1表-2の内容（覚知方法、出火箇所、出火原因、出動延べ人員、気象状況など）が入力できること。 国表1表-3の内容（火災警報、火元建物のり災前状況など）が入力できること。 国表2表の内容（出火階数、焼損程度、損害額、損害状況、死傷者・負傷者数など）が入力できること。 国表3表-6表の内容（負傷者の区分、負傷者の避難方法、負傷者の性別年齢区分、負傷者の受傷原因など）が入力できること。 火元・類焼状況（住所・氏名、火元建物のり災前の状況、建物以外の焼損物件、り災状況など）が入力できること。 火災調査報告書の印刷ができること。	必須		
7	〃	② 火災調査報告死者 情報入力	死者の情報が入力できること。国表7表-1～7表-5の内容が入力できること。 死者調査書の印刷ができること。	必須		
8	〃	③ 火災調査報告 負傷者情報入力	負傷者の情報が入力できること。 負傷者調査書の印刷ができること。	必須		
9	〃	④ 火災番号・ 死者番号 自動採番/ 採番リスト印刷	指定した年の火災報告データを対象に、覚知年月日、覚知時刻順に火災番号・死者番号を1から採番できること。	必須		
10	〃	⑤ 火災調査報告 検索／照会	1.検索条件を指定して、火災調査報告を参照できること。 2.照会リストの印字出力が可能であること。	必須		
11	(c) 火災調査帳票 業務	① 出火原因調査表 印刷	出火原因分析調査表の印字出力が可能であること。	必須		
12	(d) り災証明書業務	① り災証明書情報 登録	り災証明書発行に必要な情報が入力できること。	必須		
13	〃	② り災証明書 発行	り災証明書が発行できること。	必須		

機能要件一覧

災害事案管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
14	(d) リ災証明書業務	③ リ災証明書 発行 状況検索/照会/ 再発行	検索条件を指定して、リ災証明書の発行状況を参照できること。 リ災証明書の再発行ができること。 照会リストの印字出力が可能であること。	必須		
15	(e) 統計処理業務	① 集計処理	1.救助国表04表～13表の集計処理を行うことができること。 2.任意統計表の出力が可能であること。	必須		
16	〃	② 集計結果内容 検索	1.集計処理を行った後、集計結果に対して、対象となったデータを検索することが 可能であること。検索手順としては、まず検索対象の帳票を指定し、検索対象の 行と列を入力すること	必須		
17	〃	③ 集計処理状況 照会	1.集計処理した結果は、照会リストとして印字出力が可能であること。 また、任意帳票作成後、正しく集計されなかった場合等に、原因を探索することが 可能であること。	必須		
18	〃	④ オンライン 情報生成	1.総務省消防庁オンライン報告に対応するため、火災報告オンライン処理システム 指定フォーマットのCSVデータが出力できること。 2.総務省消防庁オンライン報告に対応するため、救助調査オフライン処理システム 指定フォーマットのCSVデータが出力できること。	必須		
19	(f) 任意検索機能	① 任意検索	1.登録されている全ての情報について、検索することが可能であること。 2.パターン登録紐を押下すると、検索情報を登録することが可能であること。 パターン登録された情報は、上書き保存や削除ができ、パターン読込紐を押下 すると、パターン登録一覧を表示することが可能であること。	必須		
20	〃	② 任意検索登録 パターン検索	1.登録されているパターンの情報は登録番号の選択等により、印字出力が可能で あること。 2.パターン登録紐を押下すると、検索情報を登録することが可能であること。	必須		
21	(g) EXCEL 変換機能	① EXCEL変換	1.登録されている全ての情報については、項目（基本情報・検索情報・項目名）を 選択することにより、取り出したい情報をEXCELに変換することが可能であること。	必須		
22	〃	② EXCEL変換 登録パターン印刷	1.EXCEL変換した情報はパターン登録紐を押下することにより、検索情報を 登録することが可能であること。パターン登録された情報は、上書き保存や削除ができ、 パターン読込紐を押下すると、パターン登録一覧を表示することが可能であること。 2.登録されているパターンの情報は登録番号の選択等により、印字出力が可能で あること。	必須		
23	〃	③ EXCEL変換 登録パターンのみ	1.セキュリティ上、取り出される情報を制限するため、パターン登録された項目に ついてのみEXCEL変換が可能であること。	必須		
24	(h) 統計表作成機能		① 帳票設定 入力 ② 帳票編集条件 入力 ③ 印刷条件表 印刷 1.編集条件表が印字出力されること。	必須		
25	(i) 自由帳票作成 機能		① 帳票情報 入力 ② 印刷情報 デザイン ③ 印刷情報 確定 1.確定エラーリストが印字出力されること。	必須		
26	(j) 環境設定機能		① マスタデータは各種メンテナンスが可能であること。 1.自由項目マスタ メンテナンス（タイトル） 2.自由項目マスタ メンテナンス（内容） 3.システムコードマスタメンテナンス 4.国コード変換マスタメンテナンス 5.車両マスタメンテナンス	必須		
27	(k) 指令連動環境 測定機能		① 自動出動システム側で使用している各種マスタを変換して使用することが 可能であること。 1.災害種別変換マスタ メンテナンス 2.覚知方法変換マスタ メンテナンス 3.覚知時刻設定マスタ メンテナンス 4.事案経過／自由項目情報変換マスタ メンテナンス 5.車両動態／自由項目情報変換マスタ メンテナンス 6.風向変換マスタ メンテナンス 7.出動種別変換マスタ メンテナンス	必須		

◎：パッケージ標準仕様
○：代替機能で対応
△：カスタマイズで対応
×：対応不能

機能要件一覧 災害事案管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
28	(1) 出勤種別変換 マスタ メンテナンス	① データ検証機能	データ検証条件(突合せ条件)を設定し、該当するデータを E X C E L に出力できること。 設定可能なデータ検証条件として、次の 4 種類を備えること。 ① 条件入力 「かつ」、「又は」の条件を設定できること。複数設定も可能なこと。 入力されていない項目を検索する条件設定も可能なこと。 ② 未登録情報条件 登録されていない情報を検索する条件を設定できること。 ③ 不一致情報条件 項目の内容が不一致の情報を検索する条件を設定できること。	必須		
29	(m) その他		環境設定機能に含まないマスタメンテナンスにあつては、君津市消防本部と別途十分に協議すること。	任意		

機能要件一覧

救急事案管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
1	(a) 活動報告業務	① 救急報告 入力	1.救急活動報告書の入力項目は主に、出場場所、出場番号、出場車両、署所、覚知日時、事故種別、搬送者数、医師出場の有無、経過時間、通報者の情報、走行距離、同乗者、出動人員、報告者などの入力が可能であること。出動人員、報告者は職員検索画面から検索し、指定することができること。 2.傷病者の入力項目においては、氏名、住所、生年月日、事故種別、傷病名、傷病程度、疾病分類、収容機関などが行えること。年齢区分は生年月日を入力した段階で自動的に表示されること。 3.傷病者情報は、応急処置／市民等処置の内容を入力できること。 4.傷病者情報は、体位、疾病、皮膚、外観状態、外傷形態、外傷部位、熱傷既往症等の情報を入力できること。また、詳細状況はメモ入力することができること。 5.傷病者情報として、特定行為／時間経過の情報が入力できること。入力項目として心肺停止の目撃状況、目撃者、場所と特定行為の指示内容として、医療機関と指示時間、処置の時間、時間経過、予後調査内容があること。 気道確保は、実施場所、実施日時、気道確保方法、実施者区分、実施者氏名、中止理由などの入力が可能であること。除細動は、実施回数、資器材区分、実施場所、実施者区分、実施者氏名、初期波形、最終波形、中止理由などの入力が可能であり、エネルギー量、確認時刻、実施者区分は6回分入力が可能であること。静脈路確保は、実施場所、実施日時、血管確保部位、留置針、実施者、実施者氏名、中止理由などの入力が可能であること。薬剤投与は、実施場所、実施日時、投与経路、投与量、投与回数、実施者、実施者氏名、中止理由などの入力が可能であること。 6.救急救命処置録の印字出力が可能であること。プレビュー釦を押下すると、処置録を画面上で確認できること。 7.傷病者の観察状況として、観察時点、観察時間、呼吸などの情報が行追加の釦を押下することで、必要な数だけ入力できること。 8.事後検証票の出力が可能であること。プレビュー釦を押下すると、事後検証票を画面上で確認できること。	必須		
2	〃	② 救急報告書 印刷	1.救急報告書の印字出力が可能であること。	必須		
3	〃	③ 救急救命処置録 印刷	1.救急救命処置録の印字出力が可能であること。	必須		
4	〃	④ 救急報告 検索/照会	1.救急報告は覚知年月、署所、出張所、事故種別、覚知区分、出場場所、搬送、搬送者氏名、収容病院、疾病分類、未確定分を検索キーとして検索、照会できること。照会結果は紹介リストとして、出力が可能であること。	必須		
5	(b) 搬送証明書 業務	① 搬送証明書発行	搬送証明書発行が必要な場合は、申請者情報と、搬送者情報、発行日、発行機関等の情報を入力し、搬送証明申請書及び搬送証明書の発行が行えること。	必須		
6	(c) 統計処理業務	① 集計処理	1.国表04表～23表、救急蘇生指標の調査表及び任意統計表は集計処理が行えること。	必須		
7	〃	② 集計結果内容 検索	1.集計結果情報は、帳票番号や行番号、列番号毎に月単位等で内容は検索できること。	必須		
8	〃	③ 集計処理状況 照会	1.集計処理結果は照会で、照会リストとして印字出力が可能であること。	必須		
9	〃	④ オンライン 情報生成	1.総務省消防庁オンライン報告に対応するため、救急調査オフライン処理システム指定フォーマットのCSVデータが出力できること。	必須		
10	(d) 任意検索機能	① 任意検索	1.登録されている全ての情報について、検索することができること。	必須		
11	〃	② 任意検索登録 パターン印刷	1.パターン登録釦を押下すると、検索情報を登録することができること。 2.登録されているパターン情報は登録パターンリストとして、印字出力が可能であること。	必須		
12	(e) EXCEL 変換機能	① EXCEL変換	1.登録されている全ての情報について、項目を選択しEXCELに変換していることが可能であること。	必須		
13	〃	② EXCEL変換 登録パターン印刷	1.パターン登録釦を押下することで、EXCEL変換された情報を登録できること。新規で登録される場合は、「名前をつけて保存」、すでに登録されているパターンを変更する場合は、「上書き保存」を選択し、登録が行えること。 2.登録されているパターンの情報は全件もしくは登録番号毎に印刷できること。	必須		
14	〃	③ EXCEL変換 登録パターンのみ	1.セキュリティ上、取り出される情報を制限するため、パターン登録された項目についてのみEXCEL変換が可能であること。	必須		

機能要件一覧

救急事案管理システムの機能と構成

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
15	(f) 統計表作成機能		① 帳票設定 入力 ② 帳票編集条件 入力 ③ 印刷条件表 印刷	必須		
16	(g) 自由帳票作成 機能		① 帳票情報 入力 ② 印刷情報 デザイン ③ 印刷情報 確定 ④ 帳票印刷	必須		
17	(h) 環境設定機能		① マスタデータは各種メンテナンスが可能であること。 1. 資器材マスタメンテナンス 2. 症状ラベルマスタメンテナンス 3. 自由項目マスタメンテナンス (タイトル) 4. 自由項目マスタメンテナンス (内容) 5. システムコードマスタメンテナンス 6. 国コード変換マスタメンテナンス 7. 資格認定情報変換マスタメンテナンス 8. 病院マスタメンテナンス	必須		
18	(i) 指令連動環境 設定機能		① 自動出勤システム側で使用している各種マスタを変換して使用することが可能であること。 1. 事故種別変換マスタ メンテナンス 2. 覚知方法変換マスタ メンテナンス 3. 覚知時刻設定マスタ メンテナンス 4. 活動状況コード変換マスタ メンテナンス 5. 傷病程度変換マスタ メンテナンス 6. 指令連動変換マスタ メンテナンス 7. 口頭指導変換マスタ メンテナンス 8. 指令情報再取り込対象マスタ メンテナンス	必須		
19	(j) データ検証機能		データ検証条件(突合せ条件)を設定し、該当するデータを E X C E L に出力できること。 設定可能なデータ検証条件として、次の 4 種類を備えること。 ① 条件入力 「かつ」、「又は」の条件を設定できること。複数設定も可能なこと。 入力されていない項目を検索する条件設定も可能なこと。 ② 未登録情報条件 登録されていない情報を検索する条件を設定できること。 ③ 不一致情報条件 項目の内容が不一致の情報を検索する条件を設定できること。	必須		

◎：パッケージ標準仕様
○：代替機能で対応
△：カスタマイズで対応
×：対応不能

機能要件一覧 その他

No	分類	中分類	仕様内容	区分	提案者 記入欄	企画提案書の 該当ページ
1	その他		各業務の出力帳票については、国表については全て帳票印刷が出来るものとし、それ以外のものについては受注者の標準パッケージをベースとし、任意帳票として当本部側で指定する 5 0 帳票程度を作成すること	任意		